

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道185号 <small>やすみやま</small> 休山改良	事業区分	一般国道	事業主体	中国地方整備局
起終点	自： <small>ひろしま くれ ほんどおり ちょうめ</small> 広島県呉市本通6丁目 至： <small>ひろしま くれ あがちゅうおう ちょうめ</small> 広島県呉市阿賀中央6丁目	延長	2.6 km		
事業概要					
<p>一般国道185号は広島県呉市から広島県三原市に至る延長約70kmの主要幹線道路である。休山改良は呉市内の中央部と阿賀・広地区を結ぶ通称「呉越峠」と呼ばれる区間における交通渋滞の緩和及び交通安全の確保をを目的に計画された延長2.6kmの道路である。</p>					
S61年度事業化	S61年度都市計画決定	H1年度用地着手	H6年度工事着手		
全体事業費	約450億円	事業進捗率	70%	供用済延長(暫定2車)	2.6 km
計画交通量	44,900台/日				
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 3.3 (残事業) 2.0	総費用： (残事業)/(事業全体) 130 / 532億円 事業費：118/504億円 維持管理費：12/28億円	総便益： (残事業)/(事業全体) 258 / 1,761億円 走行時間短縮便益：224/1,570億円 走行費用減少便益：21 / 142億円 交通事故減少便益：13 / 49億円	基準年： 平成16年	
感度分析の結果	交通量変動：B/C=2.0(交通量+10%) B/C=1.9(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.8(事業費+10%) B/C=2.2(事業費-10%)				
事業の効果等	・物流効率化の支援(重要港湾呉港へのアクセス向上が見込まれる) ・都市の再生(呉市内の拠点地区相互を連絡)				他18項目に該当
関係する地方公共団体等の意見	休山改良は国道185号の交通混雑の解消並びに呉周辺地域の東西連携の強化、圏域の一体的発展に大きな役割を果たすことが期待されており、呉市、音戸町など7市町村及び関係団体からなる「休山新道建設促進期成同盟会」により早期整備の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	呉市は、平成16年までに旧川尻町、旧下蒲刈町との合併が完了し、平成17年3月、安浦町及び蒲刈町等との合併が予定されている。国道185号はこれらの沿線市町村を結ぶ路線であり、都市内及び市町間の自動車交通量が増大し、慢性的な交通混雑を引き起こしている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	段階的な整備を進め、現在、全線2.6kmを暫定2車線で供用している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	関係機関と調整を図り、早期供用を目指し、事業を推進する。				
施設の構造や工法の変更等	建設副産物の発生抑制や再生材利用等により、今後ともコスト縮減に努めることとしている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。